

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会

目 次

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会 令和5年度事業概要	1
令和5年度 事業報告(拠点区分・サービス区分別)	
1. 法人運営	3
2. 善意銀行運営事業	1 3
3. 地域福祉事業(小地域ネットワーク事業)	1 4
4. ボランティアセンター事業	2 2
5. ファミリー・サポート・センター事業	2 8
6. 日常生活自立支援事業	3 2
7. 大阪府生活福祉資金貸付事業	3 3
8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業(いきいき地域支援事業)	3 4
9. 食でつながる共生のまちいけだ	3 8
10. 意思疎通支援事業	4 0
11. 紙おむつ給付事業	4 0
12. 生活支援体制整備事業	4 1
13. 有償協力員派遣事業(にじの会)	4 3
14. 訪問介護事業	4 4
15. 障がい者総合支援事業	4 5
16. 移動支援事業	4 5
17. 障がい者地域生活支援センターひだまり	4 6
18. 池田市さわやか地域包括支援センター	4 6
19. 池田市保健福祉総合センター管理運営	4 9

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会

令和5年度事業概要

池田市社会福祉協議会では、地域生活課題が複雑化・複合化し、コロナ禍を経てさらに潜在化・深刻化している中、住民生活に関わる幅広い分野との連携・協働を今まで以上に意識しながら、多様な課題や新たな課題に取り組んでまいりました。社協の使命である「一人ひとりが大切にされ 安心して暮らせる共生のまちづくり」の実現に向けて、地域でのつながりと支え合い活動への支援、利用者への在宅福祉サービスの実施、新型コロナウイルス感染症特例貸付対象者へのフォローアップ、コロナ禍から続く生活困窮や社会的孤立などのより深刻化した生活課題を抱えた方々を支援するための取り組みなど、一人ひとりの暮らしを守る活動を行ってまいりました。また、令和5年度から5か年計画で実施される「第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画」を進めるとともに、池田市社協の組織基盤の整備・強化のために「中期経営計画」を策定し、池田市社協の経営方針を明示することができました。

【重点目標の概況】

◎第5次池田市地域福祉活動推進計画（i-プラン）の推進

5か年計画の1年目として、計画の理念である「一人ひとりが大切に『おたがいさま』でつながる池田」の実現に向けて、「子どもの育ち・はぐぐみ」をテーマとした共生のまちいけだプラットフォームを開催しました。子どもなどに関係する団体などが集まり、地域の生活課題を出し合うとともに、参加者同士のつながりづくりを行いました。

◎小地域ネットワーク活動の活性化と関係団体との連携

各地区福祉委員会で進める小地域ネットワーク活動では、新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、徐々に日常生活が戻るなか、地域住民が行政・福祉関係者などと連携しながら、グループ援助活動・個別援助活動に取り組むとともに、「人と人とのつながり・支え合い」を推進するために、工夫を凝らした活動を展開しました。

◎地域包括支援センター業務の発展強化

高齢者の相談窓口として、担当地区（池田・五月丘）の高齢者が住み慣れた地

域で安心した生活ができるよう、多職種・多機関と連携し、多数の問題を複雑に抱えているケースに対応しました。また、市民向け講座の実施、地域の集いへの参加、広報誌の作成などを通して、包括支援センターの周知を啓発活動に取り組みました。

◎良質な介護サービスの提供と事業経営の効率化

介護保険事業・障がい者総合支援等の事業の制度改正の影響、他事業所との競争や介護人材不足等により、在宅福祉関係事業の採算は大変厳しい状況になっていますが、少数精鋭の人員配置と事業の効率化を図り経営の安定化に努めました。

◎組織体制ならびに財政基盤の強化

池田市社協の組織基盤の整備・強化のために令和6年度から3か年計画で実施する「中期経営計画」を策定するとともに、大規模災害などの非常時においても池田市社協の使命を全うできるよう事業継続計画（BCP）の定期的な見直しを行いました。また、活動財源の確保については、会員会費の増強、寄附金の確保などに努めてまいりましたが、昨年が続いて減収となりました。

◎地域福祉の情報発信基地としての保健福祉総合センター体制整備

平成29年度から指定管理者となり、管理運営を強化するとともに、地域に開かれ、賑わいのあるセンターを目指し、各種事業を企画実施してきました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、徐々にセンターを利用する人も増え、活気が戻ってまいりました。一部会議室の利用制限、外壁改修工事などの大規模改修の実施などがありましたが、安定的な管理運営と各種企画の継続的实施により、センターの利用促進に努めました。

令和5年度 事業報告

1. 法人運営

[1] 理事会

開催数: 5回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
5.6.2	1. 収益事業職員就業規則等の廃止について 2. 職員就業規則等の一部改正について 3. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 4. 職員人事評価実施規則の一部改正について 5. 令和4年度事業報告及び決算について 6. 令和4年度監査報告について 7. 令和5年度第1次補正収支予算について 8. 評議員候補者の推薦について 9. 令和5年度第1回評議員会の議題等について	10
5.6.22	1. 会長、副会長及び常務理事の選任について 2. 顧問の選任について 3. 各種委員会委員の選出について	13
5.9.28	1. 副会長の選任について 2. 定款の一部改正について 3. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 組織構成会員の入会について 6. 会長及び常務理事の職務執行状況について 7. 令和5年度第2回評議員会の議題等について	14
5.12.21	1. 職員就業規則等の一部改正について 2. 令和5年度第2次補正収支予算について 3. 令和5年度第3回評議員会の議題等について	13
6.3.11	1. 職員給与規則の一部改正について 2. 非常勤職員就業規則の一部改正について 3. 経理規則の一部改正について 4. 令和6年度事業計画及び予算について 5. 令和6年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 6. 池田市社会福祉協議会中期経営計画について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について 8. 令和5年度第4回評議員会の議題等について	13

[2] 評議員会

開催数：4回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
5.6.22	1. 令和4年度事業報告及び決算について 2. 令和4年度監査報告について 3. 令和5年度第1次補正収支予算について 4. 理事及び監事の選任について	20
5.10.10	1. 定款の一部改正について 2. 理事の選任について	25
6.1.15	1. 令和5年度第2次補正収支予算について	21
6.3.22	1. 令和6年度事業計画及び予算について 2. 池田市社会福祉協議会中期経営計画について	21

[3] 三役会

開催数：5回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
5.5.23	1. 収益事業職員就業規則等の廃止について 2. 職員就業規則等の一部改正について 3. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 4. 職員人事評価実施規則の一部改正について 5. 定款の一部改正について 6. 令和4年度事業報告及び決算について 7. 令和4年度監査報告について 8. 令和5年度第1次補正収支予算について 9. 評議員候補者の推薦について 10. 令和5年度第1回評議員会の議題等について 11. 理事及び監事の選任について 12. 善意銀行の運営について	9
5.6.22	1. あて職の分担について 2. 今後のスケジュールについて	8

5.9.19	<ol style="list-style-type: none"> 1. 副会長の選任について 2. 定款の一部改正について 3. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 組織構成会員の入会について 6. 会長及び常務理事の職務執行状況について 7. 令和5年度第2回評議員会の議題等について 8. 理事の選任について 9. 池田市社会福祉協議会中期経営計画の策定について 10. 善意銀行の運営について 	8
5.12.11	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員就業規則等の一部改正について 2. 令和5年度第2回補正収支予算について 3. 令和5年度第3回評議員会の議題等について 4. 池田市社会福祉協議会中期経営計画の策定について 5. 善意銀行の運営について 	9
6.2.20	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員給与規則の一部改正について 2. 非常勤職員就業規則の一部改正について 3. 経理規則の一部改正について 4. 令和6年度事業計画及び予算について 5. 補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 6. 池田市社会福祉協議会中期経営計画について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について 8. 令和5年度第4回評議員会の議題等について 	9

[4] 研修活動及び行事

開催数:0回

開催日	研修及び行事名	場所	主な参加者
6.1.12	令和6年(2024年)新年互礼会	池田市民文化会館	<中止>

[5] 役員等連絡調整会議及び研修会

開催日	会議・研修会名	場 所
5.4.13	大阪府市町村社協連合会総会	大阪府社会福祉会館
5.4.13	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	大阪府社会福祉会館
5.6.8	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪社会福祉指導センター
5.7.6	大阪府市町村社協連合会総会	国民會館
5.7.6	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	国民會館
5.8.31	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	高槻市地域福祉会館
5.9.7	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪社会福祉指導センター
5.9.7	大阪府市町村社協連合会事務局長研修	大阪社会福祉指導センター
5.11.9	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪社会福祉指導センター
5.11.9	大阪府市町村社協連合会事務局長研修	大阪社会福祉指導センター
6.2.8	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	日本赤十字社大阪府支部
6.2.8	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同研修	日本赤十字社大阪府支部
6.2.28	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	吹田市文化会館

[6] 事務局体制の整備

(1) 課長会

社協事務局3課の情報共有と部署間の連携を促進するため、毎月原則最終火曜日に課長会を開催しました。

(2) 人事評価制度

池田市社協では、組織目標と個人能力向上を達成するため、人事評価制度を平成30年度から実施しています。令和5年度は、人事評価の結果を、職員の昇任・昇格や昇給に活用しました。

(3) 職員ミーティング

職員間の一体感の醸成と、情報共有と部署間の連携を促進するため、原則毎月1回全職員参加による職員ミーティングを開催してきました。今年度は、中期経営計画の策定を中心に、計10回のミーティングを開催しました。

(4)中期経営計画(第1期)の策定

役職員がこれまでの取り組みを振り返り、改めて今の時代に即した経営理念を掲げ、これから組織が進んでいく方向性を具体的に明示し、令和6年度から令和8年度の3か年に計画的に実行していくための計画を策定しました。

[7] 広報啓発活動

(1)広報誌「いけだの社協」の発行

市民へ社協活動や社会福祉・ボランティアに関する啓発、宣伝を行うために、広報誌を年4回発行。各号54,250部印刷し、市報「広報いけだ」に折り込み、市内全戸に配布しました。

また、編集にあたっては、広報委員会を開催し、市民目線での紙面づくりに取り組みました。

号	発行日	主な内容
184	5.5.1	① 社協会員会費募集 ② 第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画 ③ 「食」で作るあたたかなつながり(フードドライブ・フードパントリー) ④ 令和5年度社協事業計画・予算 ⑤ 令和4年度学生ボランティアプロジェクト終了 ⑥ ボランティア情報
185	5.8.1	① いつでもどこでもだれでも参加(ラジオ体操) ② ボランティア情報 ③ 令和4年度事業報告・決算
186	5.10.1	① (特集)社協が関わる子育て支援 ・子育てサロン ・ファミリー・サポート・センター ・保育ボランティア「だっこ」 ② 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ③ ボランティア情報
187	6.2.1	① わんわんパトロール ② ボランティアグループ「糸の会」 ③ みんなの居場所「つむぎ」に来ませんか? ④ 日常生活自立支援事業 ⑤ 共生のまちいけだプラットフォームはじめました ⑥ 地区福祉委員会Topics ⑦ 令和5年度共同募金運動にご協力ありがとうございました ⑧ ボランティア情報

(2)ホームページ・Facebookの運営

市民に対して、24時間の情報提供を目的としてホームページとFacebookを公開。適宜、内容を更新し、積極的に社協事業をPRしました。

(3)福祉広報誌研修会の開催

地区福祉委員、ボランティアセンター登録ボランティア、市内の福祉施設やNPO団体等を対象に「相手に伝わる紙面づくり」ができるよう、広報誌づくりの基本を学ぶ研修を開催しました。

年月日	場 所	内 容	参加者
5.7.28 5.8.2	保健福祉総合センター	企画・編集・制作・写真の撮り方・文章・タイトルの付け方など	ボランティアグループ、福祉施設職員、地区福祉委員 計19人

[8]社協会員

(1)住民会員会費状況

地区名	一般会員		賛助会員		特別賛助会員		名誉会員		会員数合計(口)		会費総額(円)
	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	前年度	今年度	
秦野	929	464,500	54	108,000	5	50,000	0	0	1,058	988	622,500
北豊島	645	322,500	51	102,000	5	50,000	0	0	703	701	474,500
細河	670	335,000	6	12,000	2	20,000	0	0	719	678	367,000
石橋南	290	145,000	99	198,000	9	90,000	1	50,000	415	399	483,000
緑丘	428	214,000	43	86,000	1	10,000	0	0	504	472	310,000
呉服	1,112	556,000	89	178,000	13	130,000	0	0	1,435	1,214	864,000
石橋	431	215,500	40	80,000	3	30,000	0	0	504	474	325,500
神田	426	213,000	23	46,000	0	0	0	0	465	449	259,000
五月丘	137	68,500	17	34,000	1	10,000	0	0	129	155	112,500
池田	957	478,500	55	110,000	13	130,000	0	0	1,030	1,025	718,500
伏尾台	429	214,500	7	14,000	3	30,000	0	0	454	439	258,500
事務局	224	112,000	0	0	2	20,000	2	100,000	239	228	232,000
合 計	6,678	3,339,000	484	968,000	57	570,000	3	150,000	7,655	7,222	5,027,000

(2)組織構成会員入会状況

領 域		加入団体数(団体)
I	住民代表的な性格のつよいもの	17
II	福祉専門機関・団体的性格のつよいもの	27
III	当事者団体的性格のつよいもの	4
IV	関連分野団体	11
V	その他	0
合 計		59

[9] 池田市社会福祉施設連絡会

池田市内の社会福祉施設及び社協が連携し、連絡調整、交流並びに社会貢献事業への協力等を図り、地域福祉の推進ならびに施設福祉の充実・発展に努めることを目的に活動しています。

今年度は、総会・地域共生社会に関する勉強会・地域福祉研修会・災害時ボランティアセンター設置訓練などの取り組みを通じて、施設会員間の交流や相互理解を深めることができました。

会員数 (6.3.31 現在)	会員施設種別			
	高 齢	障がい	子ども	その他
16 法人	7 法人	4 法人	4 法人	1 法人

[10] 地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の推進

令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年計画の1年目として、計画の理念である「一人ひとりを大切に『おたがいさま』でつながる池田」実現に向けて活動をすすめました。

(1) 共生のまちいけだプラットフォーム打合せ会議

地域のさまざまな人や団体が連携し、地域生活課題の解決に取り組む場としてプラットフォームを立ち上げるにあたり、取り組み体制と進め方について、池田市と池田市社協にて打合せを行いました。計 10 回。

(2) 共生のまちいけだプラットフォームの開催

① 全体会「子どもの育ち・はぐくみ」

子どもなどに関係する団体などが集まり、地域の生活課題を出し合うとともに、参加者同士のつながりづくりを行いました。

回	年月日	場 所	内 容	参加者
1	5.12.2	保健福祉 総合センター	・各団体の活動から見てきた課題の共有 ・参加者同士のつながりづくり	18 団体 計 19 人
2	6.3.3	保健福祉 総合センター	・ワールドカフェ方式で「情報」「居場所・つながり」「学校」「障がい」の4つのテーマに分かれての意見交換	14 団体 計 15 人

[11] 災害時の体制整備、被災地支援活動

(1) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

災害時に、災害ボランティアセンターがスムーズに設置・運営できるようにするため、毎年実施しています。今回はオープンシナリオ訓練として、マニュアル内容の学習、コーディネートの流れや様式の改善点の確認を行いました。

年月日	場 所	主 な 議 題	参加者
5.10.23	保健福祉総合センター健康教育室	災害ボランティアセンター設置・運営訓練	ボランティア 6 人 社会福祉施設 11 人 地区福祉委員 17 人 社協職員 12 人

(2) 災害時対応訓練

令和6年3月 27 日に、業務時間内に災害が発生した想定し、職員による「災害時対応マニュアル」に沿った実地・シミュレーション訓練を行いました。

(3) 災害時対応マニュアル及び事業継続計画(BCP)の見直し

策定済の事業継続計画(BCP)の進捗状況確認と点検を行い、必要な部分に関して修正を行いました。

(4) 令和6年能登半島地震支援活動

①被災地派遣

年月日	活動先	主な活動内容	派遣者
6.1.25～1.28 3.1～3.5 計9日間	いしかわ総合スポーツセンター	石川県が設置した1.5次避難所にて、大阪府災害派遣福祉チーム(DWAT)として、「なんでも福祉相談コーナー」のリーダーを担当	職員 1 人
6.3.25～3.29 計5日間	七尾市文化ホール	七尾市社会福祉協議会が設置した七尾市災害ボランティアセンターにて、近畿ブロック社協応援派遣者として、主に災害廃棄物仮置き場の分別管理、ボランティア活動支援を担当	職員 1 人

②街頭募金

年月日	実施場所	参加者
6.1.12 16:00～17:00	阪急池田駅	ボランティアセンター登録グループ、施設連絡会、生活支援コーディネーター、社協職員
6.1.31 16:00～17:00	阪急池田駅・石橋阪大前駅	地区福祉委員会

[12] 各種団体事務局

下記の団体事務局を担い、地域住民や各種団体等への啓発と事業推進に取り組みました。

(1) 大阪府共同募金会池田地区募金会

① 共同募金運動

令和5年10月から11月まで、自治会町会・学校・団体・福祉施設等の協力を得て、戸別募金・学校募金・街頭募金を実施しました。

昨年度に引き続き、石橋商店会・サカエマチ商店会より計32店舗の協力があり、街頭募金では、池田市民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・宣真高等学校・池田市立渋谷中学校・いしばし学園より参加協力があり、阪急池田駅・石橋駅において5日間実施しました。ご協力いただいた募金は社会福祉施設・社会福祉団体・災害支援等に配分され地域福祉の推進に活用しました。令和5年度募金総額：2,174,046円

② 歳末たすけあい運動

令和5年12月、各自治会町会・学校・団体の協力を得て、戸別募金・学校募金・街頭募金を実施しました。街頭募金は、阪急池田駅・石橋駅において4日間実施し、池田市民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・池田市断酒会・ボーイスカウト池田第1団・いけだ学園の参加がありました。また、池田市役所全課からも協力がありました。ご協力いただいた募金は、市内の障がい者施設・保育所・当事者団体・子ども食堂などへ配分し、福祉活動を支援しました。令和5年度募金総額：2,091,448円

(2) 日本赤十字社大阪府支部池田市地区・池田市赤十字奉仕団

自然災害への支援活動、血液製剤を安全安定的に供給するための血液事業、医療事業などを担う日本赤十字社の池田市地区における事務局を担っています。地域の自治会町会や池田市高齢・福祉総務課、危機管理課、消防本部等と連携し、啓発活動や活動資金募集などの事業に取り組みました。

- ・令和5年度活動資金募集実績 2,313,345円(協力数:自治会町会63、個人6)
- ・国内義援金海外救援金の受付(18種類)、市内公共施設に募金箱設置
 - 令和6年能登半島地震災害義援金(募金箱の設置12か所、街頭募金の実施2日間)
- ・赤十字防災デー等の開催(校区防災訓練等4回)
- ・市民向け講習会の企画(幼児安全法講習会2回)
- ・災害備蓄品等の整備(池田市)

(3) 池田市献血推進協議会

大阪府では、輸血用血液を1日1,100人分必要とし年々需要が高くなっていますが、新型コロナウイルス感染症拡大により、協力者数が減少していました。

献血推進協議会では、献血の重要性を広く市民に訴え、1人でも多くの方から協力を得られるよう、広報紙・ホームページ・Facebook やチラシの掲示、街頭啓発の実施などにより献血意識の向上に努めました。

また大阪府赤十字血液センターと連携し、移動採血車の手配・献血実施場所の確保と調整のコーディネート業務を担いました。実施に当たっては、市内の小中学校・高等学校・企業・公共施設・団体等から多数の協力協賛があり、その結果、令和5年度、市内での献血実施回数は計49回、献血者数は延べ1,901人となりました。

[13] 寄附者

○一般寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	5.5.24	匿名	4,670	
2	5.5.25	匿名	20,000	
3	5.6.5	匿名	5,000	
4	5.7.19	岡部隆二	10,000	
5	5.11.6	匿名	400,000	
6	5.11.7	豊能北障害者就業・生活支援センター	2,832	
7	5.11.10	数奇亭	10,000	
8	5.12.19	匿名	100,000	
9	5.12.25	匿名	140,000	
10	5.12.26	匿名	30,000	
11	6.1.10	匿名	2,000,000	
12	6.2.16	匿名	80,000	
13	6.3.6	NADIX株式会社	50,000	
14	6.3.14	日本基督教団池田五月山協会	5,000	
15	6.3.19	池田市日本中国友好協会・いけだ国際交流友の会	7,000	
16	6.3.29	日本キリスト教団石橋教会	4,000	
合 計			2,868,502	

2. 善意銀行運営事業

(1) 善意銀行寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	5.4.14	ひつじ	50,000	
2	5.7.20	匿名	200,000	
3	5.10.2	匿名	1,000,000	
4	5.12.28	(株)八代工務店	30,000	
合 計			1,280,000	

(2) 善意銀行寄附物品

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	寄 附 物 品
1	5.6.9	生活協同組合コープこうべ	お米 54 kg
2	5.5.22	池田泉州銀行職員組合	洗剤、石鹼
3	5.7.14	ダイハツ工業(株)	お菓子 634 個
4	5.10.6	生活協同組合コープこうべ	お米 54 kg
5	5.10.25	(株)ダイエー池田駅前店	カップ麺 240 個
6	5.11.6	ダイハツ工業(株)	お菓子類
7	5.11.24	ふらっとイケダ	お米 30 kg
8	5.11.28	日本キリスト教団石橋教会	食品 100 点
9	6.2.9	生活協同組合コープこうべ	お米 60 kg
10	6.3.25	(株)ダイエー池田駅前店	カップ麺 400 個

3. 地域福祉事業

[1] 地区福祉委員会活動

地区福祉委員会は、住民が主体となって「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を進めるために、概ね小学校区ごとに組織されており、池田市内の 11 地区に設置されています。大阪府の「小地域ネットワーク活動推進事業」により、11 地区すべてが行政・福祉関係者などと連携しながら、グループ援助活動・個別援助活動に取り組むとともに、各地区の特性・ニーズに対応した活動を展開することにより、誰もが住みよいまちづくりの推進に取り組みました。

(1) 活動支援業務

(回)

運営に関する相談	企画	会議・研修・活動参加	地区活動の対応	広報	研修(講師)依頼関係	地区以外の問い合わせ	その他	合計
155	178	280	122	50	1	54	361	1,201

(2) 各地区福祉委員会の活動

秦野	委員長	奥村 都志子	委員数	59 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくし秦野」58 号 59 号(各 6,000 部)全戸配布 「秦野地区福祉委員会紹介」(1,100 部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン(3 か所)		らくだクラブ	
子育て	子育てサロン			
青少年	登校見守り		秦野小学校へ出前授業	
	「あおぞら de はたのフェスタ」の協力(委員会 PR と伝承遊びコーナー設置)			
障がい	クリーンウォーク		体験学習	
	お楽しみ会		調理実習	
見守り	組織的な見守り・声かけ			
世代間	福祉のつどい			
	よりみち広場(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	アルミ缶回収に協力			
委員研修	支援活動と連携のあり方について		高齢者虐待について	

北豊島	委員長	石田 憲道	委員数	65 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉きたてしま」(5,600 部)全戸配布			
高齢者	ふれあいサロン(4 か所)		配食(4 回)	
	敬老の日の見守り			
子育て	子育てサロン			
	子育て支援拠点てしまの森誕生日会の手伝い			
世代間	ふれあいコンサート			

その他	男性料理教室	バザー手作り準備の会
	フードパントリー	
見守り	組織的な見守り声かけ	

細河	委員長	平田 裕司	委員数	26 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくしほそかわ」70号71号(各1,600部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(4か所)	健康体操教室		
	ふれあい昼食会(3か所)			
子育て	子育てサロン			
世代間	グランドゴルフ		ほそかわまつりに協力	
その他	フードドライブ			

石橋南	委員長	西岡 義晃	委員数	40 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくし石橋南」54号(5,600部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)	お見舞い品配布		
子育て	子育てサロン			
青少年	校区内パトロール	石橋まつり警備		
	花いっぱい活動協力	福祉授業に協力		
世代間	歳末防犯餅つき大会協力			
障がい	バーベキュー	クリスマスプレゼント配布・訪問		
	ボウリングとお弁当配布			
その他	男性料理教室	清掃活動		
	フードドライブ			
市民研修	「特殊詐欺にあわないために」講師:池田警察			
見守り	組織的な見守り声かけ			

緑丘	委員長	前田 敏	委員数	19 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「みどり」42号43号(各4,300部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)			
子育て	子育てサロン			
世代間	おしゃべりサロン			
その他	男性料理教室	フードパントリー		

呉服	委員長	尾川 由紀恵	委員数	59 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉くれは」106号107号(6,400部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)	町別個別見守り活動		

子育て	子育てサロン	
青少年	下校時見守り	
障がい	うちわづくり	お楽しみ会
	クリスマス会	
世代間	おしゃべりサロン	
市民研修	腸と脳の健康長寿	嚙下講習会
見守り	組織的な見守り声かけ	

石橋	委員長	村田 美代子	委員数	42 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉いしばし」(4,300 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン	愛の一声運動		
子育て	子育てサロン			
青少年	石橋小児童の登校見守り		キッズランド協力	
	ナイトフェスタ協力			
世代間	おしゃべりサロン(2 か所)		石橋小学校納涼大会協力	
	高齢者への年賀状(石橋小 6 年生の協力)			
	みんなの料理教室(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	清掃活動		ベルマーク整理活動	
	ワンコイン・ヨガ		フードパントリー	
委員研修	「熱中症対策」講師: 大塚製薬管理栄養士			
市民研修	「池田市井口堂異地域包括支援センターの紹介」			
見守り	組織的な見守り声かけ		災害時要支援者訪問協力	

神田	委員長	上島 守	委員数	61 人
【事業内容】				
広報啓発	「会員だより」(600 部) 会員配布、「神田のふくし」(4,500 部) 全戸配布			
高齢	ふれあいサロン		ふれあいのつどい	
	歳末見舞品配布		ハートフル神田クリスマスプレゼント配布	
子育て	子育てサロン			
青少年	校区内パトロール			
世代間	いらっしやい		神田フェスタ	
	わいわいフェスタ		八坂神社「縁日」協力	
	おしゃべりサロン「ほっこりサロン」(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	フードパントリー		ラジオ体操協力	
見守り	組織的な見守り声かけ			

五月丘	委員長	福本 美恵子	委員数	19 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「福祉さつきがおか」(1,600 部) 全戸配布			

高齢	ふれあいサロン	健康体操
	街角さんぽ	お花見食事会
子育て	子育てサロン	
	ほっとサロン(地域コミュニティ推進協議会と共催)	
その他	フードパントリー	五月フェスタに協力

池田	委員長	山本 博幸	委員数	71 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「池田校区ふくし」59号60号(各8,000部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(3か所)	呉服座観劇会		
	塩あめ配布	はがき配布		
	お菓子配布			
子育て	子育てサロン			
世代間	おしゃべりサロン	カラオケサロン		
	サマーフェスタ	ハロウィン撮影会		
	クリスマス会	池田小学校と高齢者の交流会		
その他	男性料理教室	フードパントリー		
委員研修	ヤングケアラーについて			
市民研修	人生会議について			
見守り	組織的な見守り声かけ			

伏尾台	委員長	野口 修	委員数	57 人
【事業内容】				
広報啓発	広報紙「ふくし伏尾台」7月1日号3月1日号(各2,300部)全戸配布 ホームページ「伏尾台で暮らす。」に掲載			
高齢	ふれあいサロン	いきいき百歳体操		
	カーボランティア	ウォーキングの会		
	ワンコインたすけあい	車いす貸出		
	独居高齢者昼食会	映画観賞会		
子育て	子育てサロン			
青少年	青パト事業協力	登下校時見守り		
	花いっぱいプロジェクト事業協力	ほそごう学園「人権総合学習」協力		
	スマイルファクトリー芋ほり協力	夏休みラジオ体操		
世代間	おしゃべりサロン(3か所)	夏祭り協力		
	おしゃべりサロン(2か所)(つながり・支え合い活動推進事業)			
	フリーマーケット			
その他	ラジオ体操(3か所)	清拭布づくり		
	花の会	清掃活動		
	男性料理教室	チャレンジ料理教室		

	伏尾台ガーデンズ	フードパントリー
見守り	組織的な見守り声かけ	
市民研修	絵のワークショップ	花の学習会

(3) 地区福祉委員長会

各地区福祉委員会から代表者が集まり、社協からの情報提供と地区間交流などを図りました。

回	年月日	主 な 議 題	出席者(人)
1	5.5.18	① 令和5年度委員長会会長・副会長の紹介 ② 小地域ネットワーク活動推進事業助成金について ③ 令和5年度つながり・支え合い活動推進事業助成金について ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 地区福祉委員会の活動及び地区割について ⑥ 第4期池田市地域福祉計画 第5次池田市地域福祉活動推進計画について ⑦ 情報共有(各地区の活動状況について)	20
2	5.7.20	① 「食でつながる共生のまちいけだ」について ② 報告書『小地域ネットワーク(個別援助)活動の実施状況』について ③ 高齢者等見守り支援『わんわんパトロール(いけだわんパト)』について ④ 情報共有(各地区の活動状況について)	22
3	5.9.21	① 「地区福祉委員会活動における共同利用施設・コミュニティセンターの使用について」 ② 社協会員会費還元金について ③ 赤い羽根共同募金街頭募金のお願い ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 災害ボランティアセンター設置運営訓練について ⑥ 情報共有(各地区の活動状況について)	19
4	5.11.16	① 地区福祉委員会活動における共同利用施設・コミュニティセンターの使用について ② 社協会費還元金交付について ③ 赤い羽根共同募金街頭募金の報告、歳末たすけあい街頭募金のお願い ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 子育てサロン担当者交流会・地域の誰もが参加できる場づくりに関する情報交換会について ⑥ 共生のまちいけだプラットフォームについて ⑦ 情報共有(各地区の活動状況について)	19
5	6.1.18	① 歳末たすけあい街頭募金報告 ② 社協会費還元金交付について ③ 令和5年度事業報告書・決算書、令和6年度事業計画書・予算書 ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 情報共有(各地区の活動状況について)	19
6	6.3.21	① 社協会費募集状況について ② ボランティア活動保険について	18

	③ 小ネットかわら版 24 号の配布	
	④ 情報共有(各地区の活動状況について)	

[2] 小地域ネットワーク活動推進事業

大阪府と市の補助事業として行っている本事業は、地区福祉委員会単位で、地域に住む要介護者が安心して生活できるように、地域住民による助け合い活動を展開し、あわせて地域における福祉の啓発と住みよい福祉のまちづくりを進めるものです。

具体的な方法として、地区福祉委員会で進める個別援助活動とグループ援助活動があり、社協はその推進を援助しています。

(1) 各地区の活動状況

① グループ援助活動

	ふれあいサロン		子育てサロン		おしゃべりサロン		男性料理		世代間交流		障がい者(児)		昼食会		その他	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
秦野	32	394	19	331	0	0	0	0	1	183	7	79	0	0	9	175
北豊島	47	655	24	290	0	0	6	50	1	104	0	0	0	0	0	0
細河	30	226	10	15	0	0	0	0	2	454	0	0	3	51	19	182
石橋南	28	282	11	98	0	0	6	81	0	0	3	60	0	0	0	0
緑丘	20	496	9	32	11	49	4	35	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	36	149	11	74	10	109	0	0	0	0	3	70	0	0	0	0
石橋	10	257	21	283	22	158	0	0	0	0	0	0	0	0	23	285
神田	41	729	16	327	0	0	0	0	5	450	0	0	0	0	0	0
五月丘	11	88	10	28	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20	50	760
池田	27	319	10	22	21	221	2	18	4	375	0	0	0	0	2	27
伏尾台	159	1,436	17	68	34	159	4	16	10	357	0	0	8	8	365	5,462
合計	441	5,031	158	1,568	98	696	22	200	23	1,923	13	209	12	79	468	6,891

② 個別援助活動

(人)

	対象者数	活動者数	見守り・声かけ	外出介助	買い物	家事援助	配食	その他
秦野	138	30	9,426	0	0	128	28	22
北豊島	432	49	5,328	206	4	23	440	53
細河	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋南	689	40	2,311	0	0	0	17	0
緑丘	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	1,011	76	1,989	1	7	2	226	359

石橋	49	12	3,868	51	174	1	259	0
神田	269	24	1,797	33	5	9	58	45
五月丘	0	0	0	0	0	0	0	0
池田	209	25	3,102	6	6	18	1	120
伏尾台	1,495	15	909	934	4	11	0	45
合計	4,292	271	28,730	1,231	200	192	1,029	644

(2) 地区福祉委員新任研修会・交流会

年月日	主 な 内 容	参加者(人)
5.7.14	① 社会福祉協議会と地区福祉委員会について ② 小地域ネットワーク活動について ③ 交流会	43

(3) 地域の誰もが参加できる場づくりに関する情報交換会

年月日	主 な 内 容	参加者(人)
5.12.13	① 事前アンケートの報告 ② 各地区の近況報告 ③ 意見情報交換	23

(4) 子育てサロン担当者交流会

年月日	主 な 内 容	参加者(人)
5.12.7	① 事前アンケートの報告 ② 各地区の近況報告 ③ 意見情報交換	22

(5) 小地域ネットワーク活動推進委員会

年月日	主 な 内 容	参加者(人)
6.1.30	① 正副委員長の紹介 ② 自己紹介 ③ 小地域ネットワーク活動について ④ 近況報告と情報交換	19

(6) 広報啓発活動

- ホームページによる周知
- 子育てサロン MAP、ふれあいサロン MAP、おしゃべりサロン MAP の発行
- 小ネットかわら版の発行(1,000 部)

小地域ネットワーク活動を推進している地区福祉委員会や関係者に対し、活動目的について共通認識を持ってもらうとともに、各地区の実践事例を紹介し、活動の参考にしてもらうために、毎年発行しています。

号	年月日	主 な 内 容
24号	6.3.21	『一人ひとりが大切にされ 安心して暮らせる共生のまちづくり』 ・地域の誰もが参加できる場づくりに関する情報交換会について ・秦野地区福祉委員会 「よりみち広場」について ・子育てサロン担当者交流会について ・地区福祉員会新任研修会・交流会について ・池田地区福祉委員会 「池田小学校との交流会」について ・能登半島地震義援金の募金活動実施について ・地域包括支援センターの地区割変更について

[3] つながり・支え合い活動推進事業

年齢、障がいなどに関係なく、だれもが参加できる出会いの場、住民同士の出会いとつながり、支えあいの場を増やすこと、また、その活動が継続的に推進できるよう、共同募金助成金を財源に、平成30年度からはじめました。

地区名	名称・開催日時	年間回数	延べ人数	
			参加者	スタッフ
秦野	「よりみち広場」 9/19, 9/22, 12/17, 3/16 10:00～12:00	4	48	42
石橋	「みんなの料理教室」 6/3, 8/19, 12/2, 3/2	4	40	31
神田	「ほっこりサロン」 毎月第3(木)10:00～11:30	11	286	33
伏尾台	「ティーサロン2丁目北」 毎月第1・3(火)10:00～12:00	22	145	81
	「ティーサロンビューハイツ」 毎月第3(火)13:30～15:30	11	80	11

4. ボランティアセンター事業

[1] ボランティアセンター

ボランティア活動をしたい方とボランティアに来てほしい方・団体をコーディネートするとともに、ボランティアの育成や啓発などを行いました。

(1) 需給調整業務

① 内容別件数 (件)

V 新規登録	V 活動問合せ	V 活動依頼	相談	連絡・その他
119	46	86	162	334

② ボランティア活動希望者内訳

(A) 新規登録者年代別 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	6	4	3	1	0	4	6	3	27
女	22	6	6	8	10	9	9	22	92
計	28	10	9	9	10	13	15	25	119

(B) 新規登録者希望内容(複数回答) (件)

	活動内容分類	件数	主な内容
1	何か役に立つ活動をしたい	36	自分にできることなら何でも、人の役に立ちたい
2	高齢者に関わる活動	10	高齢者施設のお手伝い、デイサービスでのレクリエーション補助
3	障がい者に関わる活動	24	障害児を持つ親の相談・傾聴、手話
4	保育・子どもに関わる活動	28	保育、読み聞かせ、子ども食堂の調理、小中高校生の学習支援
5	国際関係活動	0	
6	趣味・特技を生かした活動	24	写真、園芸、保護犬、ヨガ、ハンドケア
7	医療関係の活動	0	
8	被災地支援	7	災害技術ボランティア、能登半島地震
	合計	129	

(C) 登録ボランティア人数(延べ) (人)

	個人	グループ	合計
男	39	201	240
女	72	453	525
計	111	654	765

③ ボランティア依頼内訳

(A) ボランティア活動依頼内訳

<個人> (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計

男	0	0	0	0	1	0	0	1	2
女	0	0	1	0	0	0	1	3	5
合計	0	0	1	0	1	0	1	4	7

<団体> (件)

ボランティアグループ・団体	福祉施設	行政機関	包括	支援学校	学校	医療機関	その他	合計
21	46	1	1	0	9	0	1	79

(B) 依頼内容 (件)

依頼内容	件数	主な内容
外出	1	
通院・通所・通学介助	1	散歩の付き添い
外出・旅行介助	0	
運転ボランティア	0	
生活介助	4	
家事援助・身体介助	0	
入浴・入浴後の介助等	2	高齢者施設での入浴後のドライヤーあて
その他	2	高齢者宅の蛍光灯の取り換え、本の代読
友愛活動	58	
保育・遊び相手	3	映画上映中の託児、発達障がいのある子どもの相手、親子遊びの見守り
話し相手・安否確認	7	高齢者の傾聴・話し相手
イベント手伝い	10	こども食堂や学校での手伝い、受付・案内
出し物披露	27	施設や福祉委員会での音楽・マジック披露
将棋・囲碁などゲーム相手	2	高齢者施設での将棋・囲碁の相手
その他	9	こども食堂の手伝い、障害者スポーツ大会の競技補助、ハンドマッサージ
技能提供	16	
朗読・点訳・拡大本	0	
手話・筆記通訳	3	会社の式典や市民安全のつどいの手話通訳
外国語通訳	0	
作業手伝い	1	障害者施設の内職手伝い、植栽の手入れ
日曜大工	2	棚の扉の修理、福祉施設内のタンス修理
日本語指導	2	外国人介護士への日本語指導
点字・手話指導	0	
折り紙・書道・手芸等	4	高齢者施設でのおりがみ、手芸、書道指導
その他	4	自宅でのパソコン指導、施設の花壇整備、ペーパーサートの作製
小計	79	
その他	7	福祉授業依頼

		小学4年生 視覚障がい者交流授業:5校 小学4年生 地域福祉交流授業:1校 小学2年生 聴覚障がい者交流授業:1校 中学3年生 車椅子利用者交流授業:1校
合 計	86	

(C) 対応状況

(件)

依頼対応状況	件数
ボランティア紹介	67
制度等紹介	0
取り下げ	2
調整中	9
調整つかず	8
ボランティアと認められない	0
その他	0
合 計	86

(2) ボランティア講座・研修会

講座名	実施日・期間	場所	受講者数	内容
手話ボランティア講座 (入門)	5.5.25～ 11.16 毎週月曜日 計18回	保健福祉総合センター	8	基礎的な手話の理論・技術を学び、手話ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師:古瀬 常實氏
手話ボランティア講座 (基礎)	5.5.26～ 12.8 毎週木曜日 計23回	共同利用施設池田駅前北会館	7	基礎的な手話の理論・技術を学んだものが、さらなるレベルアップを図るための知識と技術を身につけ、ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師:来宝 博司氏
傾聴ボランティア講座	5.8.23～ 9.20 毎週水曜日 計4回	保健福祉総合センター	26	基礎的な傾聴技術・態度を学び、傾聴ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師:臨床教育学博士 八尾勝氏
音訳ボランティア講座	5.8.24～ 10.19 毎週木曜日 計9回	共同利用施設池田駅前南会館	11	基礎的な音訳の理論・技術を学び、音訳ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師:日本ライトハウス木村純子氏、 福島博子氏、前川裕子氏、 海老澤弥生氏、池田声の図書
要約筆記ボランティア講座	5.10.16～ 11.6 毎週月曜日 計4回	保健福祉総合センター	2	基礎的な要約筆記の理論・技術を学び、市内の要約筆記ボランティアの育成を目的として開催 講師:いけだ筆記通訳グループ「すみれ」、 言語聴覚士 武縄睦実氏
ボランティアきっかけ講座	5.10.24 火曜日	保健福祉総合センター	1	これからボランティア活動をしようとする方が、実際の活動へつなげていくことを目的として開催
	6.3.13		4	

	水曜日			講師:センターボランティアコーディネーター
--	-----	--	--	-----------------------

(3) 広報啓発

①社協広報誌「いけだの社協」への掲載

ボランティア情報などを「いけだの社協」に掲載しました。

②センターホームページなどの運営

定期的に更新を行い、市民へのボランティア情報提供を行いました。

③登録ボランティアへのメール配信

ボランティア募集などの情報をセンター登録ボランティアの方々へメールなどで配信しました。

(4) 登録ボランティアグループ・ボランティア連絡会への支援

センター登録40グループ並びにボランティア連絡会に対し、以下の内容について支援を行いました。

<ul style="list-style-type: none"> ・グループ運営や助成金申請などの相談 ・センター分室の貸出(215件) ・コピー機の貸出(有料) 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡BOXとロッカーの貸出 ・備品貸出(プロジェクターなど) ・グループのメンバー募集や活動・イベントのPR
--	---

センター登録ボランティアグループ一覧(令和6年3月末現在 40団体)		
種類	グループ名	
高齢者	池田傾聴「さつき」	傾聴ボランティア「心の倉庫」
高齢者・障がい者	ひつじ	
視覚障がい者	点訳サークル「むつらぼし」	拡大写本グループ「アイリス」
	池田声の図書	パソコン点訳会
聴覚障がい者	手話サークル「アゼリア」	ダイハツ手話部
	手話サークル「秋桜」	ボランティアサークル「フレンド」
	いけだ筆記通訳グループ「すみれ」	
子ども	保育ボランティア「だっこ」	子育て支援「さにーずくらぶ」
	Grassroots Education	
学生	宣真ボランティアサークル	
収集・リサイクル	古布の会	てるてるBOOK
国際交流	池田日本語ボランティア友の会	虹のポケット
	外国人サポート協会「スポイの会」	
趣味・特技	メロディー	むじかぞく
	ナツメロンズ	まいどハーモニー
	池田アマチュアマジシャンズ	ちゑの輪
	たのしいおりがみ	撮影マイスター倶楽部
	男・珈琲倶楽部	NPO 法人 若葉会

	園芸ボランティア「パンジー」	
その他	池田サラリーマンOB会	池田分かち合いの会ひかり
	NPO 法人 オアシス	シルバーアドバイザーいけだ
	アクティブ S-プラス	NALCわかばの会池田
	ヒイラギ	糸の会

(5) 会議等の開催状況

① ボランティアセンター運営委員会

センターの活動、運営について協議検討を行いました。

年月日	主 な 議 題	参加者(人)
5.12.15	令和5年度上半期事業報告ほか	9
6.3.15	令和5年度事業報告ほか	10

② センターグループ登録説明会

センターへの新年度登録の方法などの説明を行いました。

年月日	主 な 議 題	参加団体
6.3.5	年度提出物・ボランティア保険について、グループ情報交換ほか	15

(6) 収集活動

以下のものをセンターで収集し、各団体へ提供しました。

収集物	提供先	目的
毛糸、ハンカチ、ネクタイ	ひつじ	作品を作成・販売し、障がい者とのレクリエーション費用などへ
古布	古布の会	病院や施設利用者の清拭布として
ベルマーク	地区福祉委員会を通じて ベルマーク教育助成財団	特別支援校および小規模校、または、災害被災校へ寄付として
古切手	社会福祉協議会主催 居場所「つむぎ」	整理し、収集会社へ買い取っていただき、活動運営費に充てていく予定

(7) 福祉施設ボランティア関係

市内高齢・障がい・児童関係の施設職員を対象に、施設職員ボランティア交流会を実施し、福祉施設でのボランティアやボランティア活動についての意見情報交換を行いました。

年月日	主 な 議 題	参加者(人)
5.8.1	施設職員間の情報交換	6
6.2.15	施設職員間の情報交換	8

(8) 心をつなぐ電話

ボランティアグループ池田傾聴「さつき」の協力で、寂しさや孤立感を抱えている方々に、ボランティアが定期的に電話で訪問し、安否確認とつながりをつくる活動を実施。計 38 回活動し、対象者

は2人(3月末時点)

(9) ボランティア総合補償制度受付

ボランティアや非営利有償活動中におこる様々な事故において、活動者を補償する保険の受付業務を行いました。

保険種類	取扱人数(人)
ボランティア活動保険	2,056
ボランティア・市民活動行事保険	21,295
非営利・有償活動団体保険	81
移送中事故傷害保険	4
合 計	23,436

[2] 福祉教育の推進

児童・生徒の福祉意識を高めるために、学校での福祉教育を推進するため、市教育委員会と連携しながら、研修会や交流会・相談などを実施しました。

(1) 学校への講師・ボランティアの派遣調整

市内小・中・高校教員からの要請により、福祉・ボランティア関連授業に対し、指導案や講師の調整、職員派遣などを行いました。

学年	実施校数	依 頼 内 容
小学2年生	1	聴覚障がいがある方による話・交流、手話・要約筆記体験
小学4年生	5	視覚障がいがある方による話・交流、ガイドヘルプ体験
中学3年生	1	身体に障がいのある方へのヒアリング・車いす体験

(2) 相談業務

市内小・中・高校から、福祉・ボランティア関係の授業内容の相談を受けました。

(3) 池田市教職員研修会

市教育委員会と共催で、教職員向けの福祉教育・ボランティア学習の研修会を開催しました。

年月日	場 所	受講者(人)	内 容
5.9.26	池田市役所	20	「学校でどのように福祉教育を教えるのか」 ふくしと教育の実践研究所 SOLA 新崎 国広氏

5. ファミリー・サポート・センター事業

地域において、育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、有償で助け合う相互援助の会員組織である「いけだファミリー・サポート・センター」事業を、池田市からの委託事業として平成13年度から立ち上げてサービスを開始し、今年度も引き続き事業を実施しました。

2人配置されているアドバイザーは、サービスの依頼があると、近隣の援助者を探して事前に両者を引き合わせ(事前打ち合わせ)、双方が納得すればサービスが開始されます。

(1) 事業実績(令和5年4月～令和6年3月)

①新入退会者数

(人)

	依頼会員	援助会員	両方会員	合計
入会者数	80	20	9	109
退会者数(-)	88	13	14	115
前年からの継続会員数	595	261	68	924
合計	587	268	63	918

②事前打ち合わせ・活動件数・活動回数・活動時間

事前打ち合わせ件数	活動件数	活動回数	活動時間
70件	332件	746回	1,482時間

③活動内容別回数と時間

活動内容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保育所・幼稚園の送り	18	34	39.0
保育所・幼稚園の迎え	58	124	189.0
保育所・幼稚園の送迎	5	5	10.0
保育所・幼稚園の登園前・帰宅後の預かり	48	101	160.5
留守家庭児童会の送り	2	2	2.0
留守家庭児童会の迎え	16	74	77.5
留守家庭児童会の送迎	0	0	0.0
留守家庭児童会の登園前・帰宅後の預かり	5	7	10.5
児童の送迎	47	149	164.0
児童の預かり	26	58	184.5
子どもの病後時の援助	0	0	0.0
保育所・学校等休み時の援助	2	4	18.5
保育所等施設入所前の援助	6	31	109.5
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	12	21	63.5
保護者等求職中の援助	2	2	4.5
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	12	17	37.5
保護者等の買い物等外出の場合の援助	27	38	169.5
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	16	23	73.0

その他	30	56	169.0
合 計	332	746	1,482.0

(2) 広報啓発活動

センター事業の趣旨を市民に周知するために、PR活動を積極的に推進しました。

①機関紙の発行

会員への情報提供と交流を目的として、機関紙「FAMILY SUPPORT 通信」第45号、第46号各1,000部を発行し、会員と関係者に配布しました。

②「広報いけだ」に会員募集記事掲載

「広報いけだ」に会員募集記事を掲載し、会員確保に努めました。

③出張説明会の開催

子育て支援拠点「くるぼん」参加者を対象に出張説明会を行いました。

④地区福祉委員会での紹介

地区福祉委員長会にて会員募集のチラシを配布し、地区掲示板への掲示を依頼しました。

(3) 講習会・交流会

子どもの心身の発達に関する基礎知識と保育の留意点や事故予防についての知識を習得するための会員向け講習会を実施しました。

救命救急講習会については、今年度2回目は日本赤十字社の赤十字幼児安全法短期講習会をいけだファミリー・サポート・センター救命救急講習会とみなし、実施しました。

また、イベントを通して会員同士の親睦を図り、情報交換や意見交換を行う場として、交流会を開催しました。

名 称	年月日	場 所	内 容	参加者(人)
第1回 会員基礎 講習会	5.8.21	保健福祉 総合センター	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員	4 (保育:2)
	5.8.30		○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	3 (保育:2)
	5.9.13		○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会 葉菜の会	4 (保育:1)
	5.9.26		○心の発達と保育者のかかわり 講師:池田市発達支援課 心理相談員	5 (保育:1)
第2回 会員基礎 講習会	5.10.30	保健福祉 総合センター	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員	1 (保育:0)
	5.11.8		○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	4 (保育:1)

	5.11.27		○心の発達と保育者のかかわり 講師:池田市発達支援課 心理相談員	4 (保育:2)
	5.12.12		中止	
第3回 会員基礎 講習会	6.1.17	保健福祉 総合センター	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員 ○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	7 (保育:1)
	6.1.23		○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会 葉菜の会 管理栄養士	2 (保育:1)
	6.2.5		○心の発達と保育者のかかわり 講師:池田市発達支援課 心理相談員	3 (保育:0)
	6.2.28		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課 保健師	7 (保育:0)
第1回 救命救急 講習会	5.9.24	池田市 消防本部	○普通救命救急講習会 3 AEDを含む心肺蘇生法(主に小児・乳児・ 新生児を対象)、異物除去及び大出血時の 止血法を理解し実施できることを目的とした 講習 講師:池田市消防本部 救急担当	4 (保育:1)
第2回 救命救急 講習会	6.2.9	保健福祉 総合センター	○乳幼児の一次救命処置 赤十字幼児安全法短期講習会 講師:日本赤十字社大阪府支部指導員	14 (保育:1)
会員 交流会	5.11.22	保健福祉 総合センター	○「身体ほぐし」 講師:Brisa 主宰 栗岡多恵子さん	9 (保育:0)

(4) 池田市子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)給付事業利用状況

〔(1)の実績に含まれるものの中から抜出〕

池田市が保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児疲れをリフレッシュすることで育児に前向きに取り組めるよう、満2歳から満3歳までの子どもの保護者に子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)を配布する事業で、平成23年10月から開始されました。ファミリー・サポート・センターも一時預かり事業者として登録し、事業に協力しました。

活動内容別回数と時間

活 動 内 容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	6	12	33.5
保護者等の買い物等外出の場合の援助	5	7	31.0
その他	6	8	18.5

保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	2	3	6.5
保育所・幼稚園の送り	2	5	5.0
保育所・幼稚園の迎え	2	5	5.0
合 計	23	40	99.5

6. 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活がおくれるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

援助の内容は、対象者の福祉サービス利用の手続きや利用料の支払(福祉サービスの利用援助)、年金受領や医療費・税金等の支払手続き(日常の金銭管理サービス)、年金証書・預貯金の通帳などを預かるサービス(書類等預かりサービス)があります。

(1) 問い合わせ・相談援助件数 (件)

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明 その他		
問合せ件数	10	3	6	1	0	20
初回相談件数	8	1	4	0		13
相談援助件数	34	49	55	0		138
合計	52	53	65	1	0	171

(2) 契約・終了件数 (人)

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
昨年度末契約者数	9	4	11	0	24
今年度契約者数	4	1	1	0	6
今年度終了数(一)	6	1	2	0	9
年度末契約者数	7	4	10	0	21

(3) 生活支援員活動件数(契約後活動件数) (件)

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
総活動件数	321	190	279	0	790
うち生活保護 受給者分	146	34	77	0	257

(4) 広報啓発活動

- 「いけだの社協」2月1日号に掲載

(5) 権利擁護支援事業推進活動

- 司法書士に支援会議に参加してもらい、利用者の成年後見人制度への移行などの、権利擁護支援を検討する「権利擁護支援検討会」を実施(10、11、2、3月の計4回実施)
- リーガルサポートおおさか豊能ブロック所属の司法書士を講師として招き、成年後見人制度について市民や関係者に周知する「成年後見人制度セミナー」を3月1日に実施。民生委員児童委員、地域住民などを中心に19人の参加がありました。

7. 大阪府生活福祉資金貸付事業

大阪府社会福祉協議会からの委託により、大阪府生活福祉資金貸付事業の相談・受付業務を行いました。

また令和5年1月から始まった新型コロナウイルス特例貸付の緊急小口資金、総合支援資金の償還に対し、償還・猶予・免除等の相談受付・手続支援や、手続未了・償還が滞っている借受人への働きかけや他機関・他制度へのつなぎや食料提供による支援、猶予期間中借受人への見守りなどのフォローアップ支援事業を引き続き実施しました。

(1) 福祉資金・教育支援資金

	申 込		貸付決定		備 考
	件数	金 額	件数	金 額	
福祉資金	5 件	4,962,000 円	5 件	4,962,000 円	
教育支援資金	6 件	4,068,000 円	5 件	3,101,000 円	不承認 1 件
合計	11 件	9,030,000 円	10 件	8,063,000 円	

(2) 緊急小口資金(本則)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
9 件	900,000 円	8 件	714,000 円	1件は減額、1件は不承認

※総合支援資金(本則)・臨時特例つなぎ資金・不動産担保型生活支援資金(土地担保)は、申込・貸付なし。

(3) コロナ特例貸付フォローアップ事業 (件)

償還猶予 申請受付	猶予中借受人 状況確認	滞納借受人へ の手紙発送	未応答借受人 への手紙発送	合 計
27	40	198	202	467

(4) 相談件数 (件)

福祉資金	緊急小口 資金	教育支援 資金	総合支援 資金	不動産 担保	コロナフォロ ーアップ	合計
111	85	48	18	5	861	1,128

8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)設置事業は、令和5年度より地域包括支援センターの圏域が増えたことにあわせて、1人増員の5人を配置し、地域において複合・複雑化した課題や、福祉制度やサービスにあてはまらない課題を抱えた方の相談に、分野にかかわらず対応しています。課題を抱えた方が地域で安心して生活するために、地域の方々や関係機関・団体と協働し、地域福祉活動のネットワーク化や、自立生活支援のための基盤づくりを行うなど、地域福祉の向上に努めました。

(1) CSW の配置拠点と担当小学校区

区 分	担当小学校区	配置拠点
池田市北部	秦野小・ほそごう学園校区	社協
池田市中部	五月丘・池田小学校区	
池田市東部	緑丘・石橋小学校区	
池田市西部	呉服・神田小学校区	
池田市南部	北豊島・石橋南小学校区	

(2) 地域福祉の計画的な推進及びセーフティネット体制づくり

活動内容	件数
市町村地域福祉計画の支援	0
住民懇談会の開催	0
住民活動のコーディネート	81
要支援者等の組織化支援	1
既存の公的サービス等との協働	342
研究・開発した新たなサービス	1
ケース検討会議	24
地域住民を対象とする研修会	27
各種サービスの利用申請支援	27

(3) 個人を支える相談支援と地域をつくる支援

① 相談対象者別

(件)

相談対象者	相談件数 (延べ)
高齢者	409
(うち)ひとり暮らし高齢者	78
(うち)高齢者のみの世帯	18
障がい者	1,090
(うち)身体障がい者	22
(うち)知的障がい者	28

(うち)精神障がい者	1,040
子育て中の親子	766
一人親家庭の親子	615
青少年	352
DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者	23
ホームレス	0
外国人(中国帰国者を含む)	4
その他	716
合 計	3,975

②相談内容別 (件)

相談内容	相談件数 (延べ)
福祉制度・サービスに関する相談	530
生活に関する身近な相談	1,433
健康・医療に関する相談	809
生活費に関する相談	485
就労に関する相談	305
財産管理・権利擁護に関する相談	38
消費者被害に関する相談	1
多重債務に関する相談	40
DV・虐待に関する相談	73
地域福祉活動・ボランティア活動に関係する相談	352
住宅に関係する相談	103
子育て・子どもの教育に関する相談	180
その他	88
合 計	4,437

③ 広報物発行・掲載

- CSW 活動報告集発行(400 部)
- LINE 相談カード発行
- 「いけだの社協」2月1日号に掲載
- 市広報誌(5月、9月、12月、2月号)に掲載(LINE 相談も併せて掲載)

④ 関係機関・団体への啓発活動

関係機関・団体/会議名	内容	回数
民生委員児童委員協議会 地区定例会(全11地区)	CSW の役割と各地区の事例を報告	13
社会福祉施設連絡会	役員会にて、CSW の役割説明 研修会にて、CSW の役割説明及び事例を発表	2

社会貢献事業支援員・CSW 連絡会	CSW の役割を説明	1
SSWCSW 連絡会	CSW の役割を説明と事例報告 (SSW との連携事例から地域づくりに向けた展開)	3
池田市地域包括支援センター連絡会	CSW の役割を説明	1
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府教育委員会三島・豊能 SSW 連絡会にて事例発表 ・池田小学校ゲストティーチャー ・吹田市社会福祉協議会にて、居場所「つむぎ」の経緯と展開について説明及び CSW 間の意見交換 	3

(各地区福祉委員会へは随時説明)

(4) 居場所「つむぎ」

課題を抱えた当事者やその家族、住民、関係機関が集まる居場所「つむぎ」を設置し毎月1回(8月休み)開設しました。

年月日	参加者(人)	年月日	参加者(人)
5.4.11	5	5.11.14	3
5.5.9	10	5.12.12	5
5.6.13	3	6.1.9	2
5.7.11	3	6.2.13	9
5.9.12	7	6.3.12	2
5.10.10	7		

※6.2.13 は、サポステ(地域若者サポートステーション)の説明会を実施
講師:とよの地域若者サポートステーション 職員

(5) 当事者の組織化推進事業

個人・世帯(以下対象者)を支える相談支援と地域づくりを一体的に行うコミュニティソーシャルワーカーの支援を通して、対象者だけでなく地域の協力者・団体と共に話し合いを重ねながら、当事者の組織化を側面的に支援することを目的に取り組んでいます。

令和5年度はまず1事例(母:ひとり親・無職・困窮/子:不登校・精神)をモデルケースとして、当事者の組織化に向けて取り組みました。

開始年月日	名称	参加者(世帯)	対象者・頻度・開催場所
5.8.3	ポラリス	4	対象者: 呉服小学校区内在住の不登校の子どもを抱える親(と子) 頻度: 月1回程度 場所: 呉服小学校空き教室、寺子屋 mae

(6)しごと・ちいき体験事業

人との関わりの難しさや不安、経験の不足などから社会とつながりにくい若者に対して職業体験の場と地域活動体験の場を設け、社会経験を積み、社会との接点を増やす機会を提供できたらと、令和3年度に創設し、令和5年度は2事例目として実施しました。この事業により、自立に向けた環境を整えるとともに、対象者が自己肯定感を得て、孤立を防止し、地域社会とのつながりを得ることを目的としていることから、CSWによる、支援プランの策定やモニタリング、評価、フォローアップなども併せて実施しました。

対象者	50代女性(ひとり親・無職・うつ・孤立)
年月日	6. 2. 28 ～(3か月間*令和6年度も継続)
場所	社会福祉法人起生会 ほほえみの園(高齢者総合福祉施設)
体験報酬	1時間 500円(善意銀行事業)

9. 食でつながる共生のまちいけだ

物価高騰など生活上の変化が起こる中で、「食」という誰もが関わるものを通じてあたたかなつながりを感じることができるよう、市内全域で市民や企業、団体等が協力し合いながら、取り組みをすすめてきました。

(1) フードドライブ

- ・市民より、延べ 95 件
- ・企業・団体より、延べ 57 件
- ・コープこうべ豊中配送センターやダイエー池田駅前店より月 2 回提供
- ・令和 6 年 1 月からファミリーマート池田神田店より月 1 回提供

(2) フードパントリー

- ・地区福祉委員会や民生委員児童委員協議会、福祉施設、子ども食堂、NPO、学校など多くの地域団体が協力し実施しました。

実施日時	名称	対象	場所	参加人数
5.4.8(土) 10:30~12:00	フードパントリー	未就学児のこどもがいる家庭、もしくはひとり親家庭	ほほえみの園	33
5.5.27(土) 10:00~11:00	フードパントリー	一般向け	神田北会館	80
5.6.2(金) 11:00~12:00	フードパントリー	一般向け	保健福祉総合センター	47
5.6.9(金) 14:00~15:00	フードパントリー	65歳以上の方	五月丘会館	21
5.7.8(土) 10:30~12:00	フードパントリー	未就学児のこどもがいる家庭、もしくはひとり親家庭	ほほえみの園	32
5.8.6(日) 11:00~13:00	自分でおにぎりを作ろう!!(ご飯を炊いておにぎりをつくる体験)	石橋小、石橋南小、石橋中に通う児童生徒	石橋会館	17
5.8.9(水) 11:00~12:00	フードパントリー	一般向け	保健福祉総合センター	31
5.9.25(月) 13:30~14:30	フードパントリー	伏尾台・細河地区にお住まいの方	旧伏尾台小学校	43
5.10.14(土) 11:00~12:00	フードパントリー	高校生以下の子どもがいる世帯	上池田会館	27
5.10.28(土) 13:00~14:00	フードパントリー	65歳以上の方	才尊会館	44
5.11.24(金) 13:30~14:30	フードパントリー	伏尾台・細河地区にお住まいの方	ふらっとイケダ	35
5.12.14(木)	フードパントリー	石橋地区にお住まいの方	井口堂北会館	39

13:30～14:30				
6.2.14(水) 11:00～12:00	フードパントリー	一般向け	保健福祉総合 センター	50
6.3.5(火) 11:00～12:00	フードパントリー	一般向け	きたてしまプラ ザ	4

(3) 作業の会「せん」

- ・計5回開催し、親子、大学生、障がい者、高齢者など延べ41人の方々が参加
- ・フードドライブで集まった食品の仕分けや子ども用エプロン等の布製品を作成
(参加者の場所としての役割も担う)

(4) 個別食料支援

生活の困窮により、食べるものがなく困っている方を対象に、また関係機関で食料支援が必要と判断された方に対し食料品を配布しました。ひとり親家庭、子育て世帯、学生、高齢者世帯、障がい者世帯、失業や退職された方など、計43人へ複数回にわたり支援しました。

(5) 広報啓発活動

- ・毎回、開催予告のため関係各所へのチラシ配布と掲示板への掲示を依頼
- ・開催予告と開催報告を社協ホームページおよび Facebook に掲載

10. 意思疎通支援事業

聴覚や音声、言語機能に障がいのある方で、公共機関に行くなどの日常生活のうえで必要な外出や、講演会や研修会などの各種行事に参加する場合にコーディネーターが相談を受け、手話通訳者や要約筆記者を派遣し、日常生活や社会参加を支援しています。

(1) 登録通訳者数

登録通訳者数	
手話通訳者	要約筆記者
13人	7人

(2) 利用状況

手話通訳		要約筆記	
実利用者数	派遣延回数	実利用者数	派遣延回数
4人	69回	4人	53回

11. 紙おむつ給付事業

在宅で常時紙おむつを使用されている高齢者に紙おむつの給付券を支給し、経済的な負担を軽減しています。池田市から委託を受けて実施しています。

・利用状況

対象	利用者数	利用累計月数
高齢者	114人	776月

12. 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくためには、多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築が必要となります。地域の特性を踏まえた必要なサービスの創出や、提供するサービスのコーディネート機能、サービスを提供する事業主体と連携して生活支援体制の充実・強化を図ることを目的に実施しています。

池田市からの受託事業として、平成28年11月より開始しました。第1層生活支援コーディネーターを社協に配置し中学校区ごとに第2層生活支援コーディネーター(他法人)を配置しています。

(1) 第1層地域支え合い推進協議体委員会の開催

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者(人)
1	6.3.15	保健福祉 総合センター	① 池田市地域支援課からの報告 ② 令和5年度事業報告 ③ 令和6年度事業案について ④ 2層SCからの報告 ⑤ 委員からの報告・意見交換	19

(2) 第1層・第2層生活支援コーディネーター担当国会議の開催

生活支援コーディネーター間の連携を密に情報共有し、問題解決に取り組みました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題
1	5.4.13	保健福祉 総合センター	① 1層・2層SCから報告 ② 池田市地域支援課から報告 ③ 池田市わんわんパトロールについて
2	5.5.11		① 1層・2層SCからの報告 ② 池田市地域支援課から報告 ③ 池田市わんわんパトロールについて ④ 池田市健康フェスタの打ち合わせ ⑤ 生活支援コーディネーター互版打合せ
3	5.7.13		① 1・2層SCとの情報交換 ② 池田市地域支援課から報告 ③ 池田市わんわんパトロールについて
4	5.9.14		① 1・2層SCからの報告 ② 市地域支援課から報告 ③ 生活支援コーディネーター互版打合せ
5	5.10.12		① 1・2層SCからの報告 ② 池田市地域支援課からの報告
6	5.12.14		① 1・2層SCからの報告 ② 池田市地域支援課からの報告
7	6.2.8		① 1・2層SCからの報告 ② 池田市地域支援課からの報告

(3) 第2層地域支え合い推進協議体委員会への参加

2層生活支援コーディネーターの会議・活動に出席し、課題整理や問題解決のコーディネーターを2層の生活支援コーディネーターと行いました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題
1	5.9.26	保健福祉 総合センター	「山の手チーム」 ①メンバー紹介 ②活動報告 ③池田市わんわんパトロール ④情報交換

(4) 地域イベントへの参加

池田市や NPO などが主催する介護予防等に関連するイベントに生活支援コーディネーターが参加し、生活支援体制整備事業の周知・啓発・情報収集などを行いました。

回	年月日	場 所	主 な 内 容
1	5.6.3	池田市役所	いつも yobou いけだ 「健康フェスタ」
2	5.10.5	秦野小学校	秦野フェスタ
3	5.10.17	中央公民館	オレンジフェスタ(認知症啓発イベント)

(5) 研修会への参加

先進事例研究として、研修会に参加しました。

回	年月日	場 所	主 な 内 容
1	5.10.20	社協 ZOOM 研修	令和5年度支え合いをひろげる住民主体の生活 支援フォーラム
2	6.1.24	大阪府 国民會館	令和5年度生活支援体制整備に係る充実強化 研修(全体研修)
3	6. 2. 16	社協 ZOOM 研修	ええまち大阪大交流会
4	6.3.1	摂津市立 コミュニティー プラザ	第1回 生活支援コーディネーター情報交換会

(6) 池田市わんわんパトロール

地域の高齢者の見守りや、登録者の健康増進、地域貢献(ボランティア)や福祉啓発を目的に令和5年7月から登録開始しました。

・登録状況(令和6年3月末)

登 録 者 数	登録隊員(犬)数
92人	107頭

13. 有償協力員派遣事業(にじの会)

有償協力員派遣事業「にじの会」は、公的施策だけでは解決できない在宅福祉サービスのニーズに対して、住民相互の助け合いを基盤にして、有償による福祉サービスを提供することにより解決していくことを目的としています。

令和5年度も、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、利用会員・協力会員双方の意向を確認の上、活動を続けました。

(1) 相談件数 (件)

内容	利用相談	訪問
件数	71	46

(2) 会員数 (人)

	協力会員	利用会員	合計
入会者数	8	29	37
退会者数(-)	6	27	33
前年からの継続会員数	34	113	147
合計	36	115	151

(3) 内容別稼働件数・時間数

内容	掃除 洗濯含む	食事 作り	買い物	外出の 付き添 い	庭関係	代理 朗読 ・代筆	その他	見守り	話相手	合計
派遣件数 (件)	913	38	99	39	62	21	33	0	0	1,205
派遣時間 (時間)	1,067.5	69.0	62.0	121.0	96.0	36.0	56.0	0	0	1,507.5

(4) 広報啓発活動

- 会員への情報提供と交流を目的に「にじの会だより」を1回発行
令和5年6月9日発行
(新担当紹介、感染防止対策、令和4年度の活動の振り返り、マスクの着用について)
- 池田市社協広報令和5年10月号に協力会員の募集記事を掲載

(5) 有償協力員運営委員会開催状況

月 日	主 な 議 題	出席者(人)
6.2.16	①令和5年度の運営状況について	7

14. 訪問介護事業

[1] 訪問介護事業(ホームヘルパー派遣)

訪問介護員(ホームヘルパー)が、介護給付対象者の自宅を訪問し、入浴・排泄・通院等の身体介護やその他生活全般にわたる援助を行い、可能な限りご自宅での生活を継続できるよう支援しました。

また、介護予防・生活支援サービス対象者には、生活機能向上を目的に、利用者ができることはご自身で行ってもらい、利用者ができない家事を援助することで、自立した在宅生活を継続できるよう支援しました。

・利用状況－介護給付訪問介護対象者

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	29 人	318 回
生 活 援 助		1,153 回
混 合 型		1,035 回
計	29 人	2,506 回

・利用状況－介護予防・生活支援サービス対象者

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
訪問型サービス	24 人	1,374 回

[2] さわやかホームサービス

介護保険・障がい者総合支援制度になじまない支援(主に病院内での待機時間の付き添い等)を必要とする方にホームヘルパーを派遣しました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
さわやかホームサービス	5 人	22 回

15. 障がい者総合支援事業

[1] 居宅介護(ホームヘルパー派遣)

障害者総合支援法に基づく介護給付対象者(身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者、難病等対象者)の自宅を訪問し、入浴・排泄・通院などの身体介護や、その他生活全般にわたる援助を行い、可能な限りご自宅で自立した生活を継続できるよう支援しました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	31 人	1,188 回
家 事 援 助		2,578 回
通 院 介 助		211 回
計	31 人	3,977 回

[2] 同行援護(ガイドヘルパー派遣)

視覚障がい者に、社会生活上必要な外出や余暇活動等のための外出時に同行援護の資格を保有しているガイドヘルパーを派遣し、外出の介助を行いました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
同 行 援 護	10 人	954 回

16. 移動支援事業

視覚障がい者以外の障がい者で屋外での移動に制限のある方に、移動支援で外出の介助を行いました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
移 動 支 援	11 人	201 回

17. 障がい者地域生活支援センターひだまり

障がいのある方が住み慣れた地域で安心した生活を送れるように、相談支援専門員が必要な相談に応じ、情報提供や支援、福祉サービスの利用援助や計画相談支援に基づくサービス等の利用計画立案、定期的なサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行い、適切な福祉サービス利用や計画の見直しを行いました。

また、ひだまり独自の取り組みとして、発達障がい特性のある大人の方の交流会を2回開催しました。

名 称	実績件数
総合相談	1,568 件
サービス利用支援	54 件
継続サービス利用支援	110 件
障がい支援区分認定調査	4 件

18. 池田市さわやか地域包括支援センター

担当地区(池田・五月丘)の高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、社会福祉士、主任ケアマネジャー及び看護師等がチームを組み、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業及び包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を実施しました。また、地域の集まりでミニ講話をおこなったり、市民向け講座の開催により包括支援センターが住民にとって気軽な相談窓口となるよう積極的に PR 活動を行いました。

[1] 介護予防ケアマネジメント

要支援認定者及び事業対象者が、要介護状態になることを防ぐことを目的とし、介護予防ケアマネジメントを行いました。

・介護予防ケアマネジメント業務

ケアプラン 作成人数	介護予防 支援計画	介護予防 ケアマネジメント	合 計
328 人 (238 人)	1,974 件 (1,606 件)	1,319 件 (978 件)	3,293 件 (2,584 件)

() 内は、委託分

[2] 総合相談支援事業

高齢者本人や家族等から様々な相談を受け、情報提供、申請等の援助、関係機関への接続等を行いました。介護保険制度だけでなく認知症や精神疾患、生活困窮に関する相談が多くみられました。また、民生委員、地区福祉委員、関係機関等から情報提供をもとに高齢者の実態把握にも努めました。

区 分	相談延件数
相 談	1,142 件 (内、訪問 463 件)
実態把握	262 件 (主に独居・高齢者世帯)

[3] 権利擁護事業

高齢者の権利を守り、尊厳を保ちながら、安心して生活ができるよう支援しました。身寄りのない認知症高齢者や生活困窮、家族関係など複数の問題を抱えているケースの相談が増えています。

主な内容	相談延件数
1. 困難事例 2. 高齢者虐待 3. 成年後見制度 4. 消費者被害の防止	56 件

[4] 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

個々の高齢者に対し、包括的かつ継続的に支援するために、地域との連携・協働の体制作りについて取り組みました。また、ケアマネジャーへの支援として、困難事例等への指導・助言、担当地区内7か所の居宅介護支援事業所を対象に勉強会を3回開催しました。

区 分	件 数
ケアマネジャーに対する個別指導	30 件
困難事例等への指導・助言	4 件

[5] 池田市認知症初期集中支援推進事業

認知症初期集中支援チームとして、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築に取り組みました。

対象者人数
3 件

[6] 地区での活動

お互いに相談しやすい関係作りを目的とし地域へ出向き、交流を図りました。また、認知症や介護予防について普及啓発活動を行いました。

(1) 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族をあたたく見守る「認知症サポーター」を増やすため、認知症サポーター養成講座を実施しました。

回	年月日	主な内容	場所	対象	参加人数
1	5. 6. 21	症状・対応・サポーターにできること	コープこうべ	組合員	20

(2) ふれあいサロン

ミニ講話や体操や脳トレ、介護についての相談や情報提供を行いました。

地区名	回数
池田	23回
五月丘	11回

(3) 市民向け認知症勉強会

認知症について正しく知るための勉強会(オレンジ勉強会)を開催しました。

回	年月日	主な内容	場所	参加人数
1	5.5.17			5人
2	5.6.19	・認知症について		9人
3	5.7.13	・治療について		4人
4	5.9.13	・介護保険について		6人
5	5.10.19	・介護保険外サービスについて	保健福祉総合センター	1人
6	5.11.16	・周囲のかかわり方について		6人
7	5.12.14	・質疑応答 など		3人
8	6.3.21			5人

(4) その他

内 容	回数
認知症カフェ	13回
オレンジフェスタ(認知症啓発イベント)	1回
日興スカイマンション自治会集会	1回
五月クラブ	1回
五月介護教室	1回

19.保健福祉総合センター管理運営事業

平成29年度より指定管理者として池田市保健福祉総合センターの管理運営を行っており、指定管理者として7年目である令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類となり、徐々に日常の生活が戻るなかで、当センター利用についても制限を解除し、少しずつ活気が戻ってまいりました。一方、外壁改修工事など大規模改修を実施した関係上、利用者にとっては不便を強いる管理運営となりましたが、センター利用回数及び利用人数は増加傾向にあります。そういった状況下において、誰もが安心して利用できる、地域に開かれたセンターの管理運営を行うとともに、感染予防対策を講じながら市民向け講座などを実施し、センターの利用促進と周知に努めました。

(1)センター利用状況

室名	定員	回数	利用者数(延)
大会議室	120人	313回	6,484人
会議室(1)	24人	0回	0人
会議室(2)	36人	0回	0人
会議室(3)	12人	0回	0人
講習会室	20人	23回	286人
健康教育室	84人	467回	13,412人
調理実習室	30人	78回	1,025人
計		881回	21,207人

※会議室(1)、会議室(2)、会議室(3)は令和5年度中使用不可。

大会議室は4月のみ、講習会室は4月～1月使用不可。

(2)行事開催状況

①親子で楽しく学ぶ おこづかい講座

開催日	内容	場所	参加者数
5.8.9	すごろくゲーム等を通して楽しみながらおこづかいの使い方を学ぶ	保健福祉総合センター	26人

②初心者向けスマホ教室(第1期)

開催日	内容	場所	参加者数
5.4.24	はじめてのスマートフォン スマホでカメラを使おう	保健福祉総合センター	20人
5.5.22	文字入力をマスターしよう スマホでインターネットを使おう		19人

5.6.19	スマホで電話をしよう アプリを楽しもう		16人
5.7.24	スマホでメールをしよう マップを使いこなそう		16人

③初心者向けスマホ教室（第2期）

開催日	内容	場所	参加者数
5.8.18	はじめてのスマートフォン スマホでカメラを使おう	保健福祉総合センター	8人
5.9.20	文字入力をマスターしよう スマホでインターネットを使おう		8人
5.10.18	スマホで電話をしよう アプリを楽しもう		7人
5.11.21	スマホでメールをしよう マップを使いこなそう		7人

④初心者向けスマホ教室（第3期）

開催日	内容	場所	参加者数
5.8.18	はじめてのスマートフォン スマホでカメラを使おう	保健福祉総合センター	8人
5.9.20	文字入力をマスターしよう スマホでインターネットを使おう		8人
5.10.18	スマホで電話をしよう アプリを楽しもう		7人
5.11.21	スマホでメールをしよう マップを使いこなそう		7人

⑤初心者向けスマホ教室（第4期）

開催日	内容	場所	参加者数
6.1.22	はじめてのスマートフォン スマホでカメラを使おう	保健福祉総合センター	13人
6.2.19	文字入力をマスターしよう スマホでインターネットを使おう		10人
6.3.4	スマホで電話をしよう アプリを楽しもう		8人
6.3.18	スマホでメールをしよう マップを使いこなそう		8人

⑥こころとからだのリラクゼーション講座

開催日	内容	場所	参加者数(延)
-----	----	----	---------

5.4.7～ 5.5.19	第1期講座(全5回) からだをほぐしてリラックス	保健福祉総合センター	38人
5.5.26～ 5.6.30	第2期講座(全5回) からだをほぐして呼吸を整える		33人
5.7.14～ 5.8.18	第3期講座(全5回) からだをほぐして姿勢を整える		34人
5.9.1～ 5.9.29	第4期講座(全5回) からだをほぐして体幹を整える		29人
5.10.13～ 5.11.17	第5期講座(全5回) からだをほぐして下肢を整える		35人
5.11.24～ 5.12.22	第6期講座(全4回) からだをほぐして骨盤を整える		31人
6.1.12～ 6.2.9	第7期講座(全5回) からだをほぐして下肢を整える		28人
6.3.1～ 6.3.29	第8期講座(全5回) からだをほぐしてバランスを整える		32人

(3) 啓発活動状況

- ①ホームページの随時更新（会議室空室状況の随時更新 など）
- ②各種資料の提供（各種パンフレット、地域福祉に関する資料 など）

(4) その他実施状況等

- ①大規模改修(池田市が実施)
 - 外壁改修工事(令和5年11月27日～現在進行中)
 - 1階雨水排水管取替工事(令和5年6月3日～6月17日)
- ②感染症への対策
 - 手指消毒液の設置、非接触形体温計・消毒液の貸出、定期的な清掃及び消毒
- ③共有スペースの活用
 - 2階受付カウンター前ロビーに、机・イスを設置し、市民が自由に使用できるスペースを拡充
- ④消防訓練の実施
 - 令和5年10月26日(木)実施